

進学クラスCAN-DOリスト

教科(社会科)

科目(政治経済)

3年後の到達目標	各学年での目標(中期的目標)		具体的な取り組み計画・内容				評価指標	自己評価
			授業プラン	学習のポイント	土曜講習	放課後講習		
3年後の到達目標	1年生	各学年での目標(中期的目標)	学	具体的な取り組み計画・内容	土曜講習	放課後講習	評価指標	自己評価
			学					
			学					
3年後の到達目標	2年生	各学年での目標(中期的目標)	学	具体的な取り組み計画・内容	土曜講習	放課後講習	評価指標	自己評価
			学					
			学					
3年後の到達目標	3年生	各学年での目標(中期的目標)	1学期	具体的な取り組み計画・内容	土曜講習	放課後講習	評価指標	自己評価
			2学期					
			3学期					
			3年生					

・一人で入試問題に取り組む能力を身につける
 ・時事問題の対策としても教科書レベルの知識の定着をはかる

・政治経済への興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を養う
 ・政治経済に関する基本的事項を把握、理解し、それらの知識を基礎として政治的・経済的思考力を養う
 ・国際社会に主体的に生きる社会人としての資質を養う
 ・現代社会が直面する課題について考察する力を養う

1学期

・現代の資本主義経済
 ・現代経済のしくみ
 ・日本経済の発展と産業構造の変化
 ・福祉社会と日本経済の課題

・「効率」と「公正」の観点を基礎にマクロ的な視点から資本主義経済のあり方について知る。
 ・自由市場経済では需給関係を中心に価格が成り立つことを理解するとともに、経済主体の中で政府が果たしている役割を理解する。また現代の金融、財政についての問題点を考える。
 ・戦後の日本経済を振り返ると共に現在日本が直面する経済の諸問題を実態に即しながら理解する。

2学期

・国民経済と国際経済
 ・民主政治の基本原則
 ・日本国憲法の基本原則
 ・日本の政治機構

・国際経済のしくみを理解し、その中で日本がどのような役割を果たしているか考える。
 ・民主主義の成り立ちを歴史的観点、比較政治的観点から理解する。
 ・日本国憲法の普遍性ならびに国民主権、人権の尊重、平和主義について歴史的経緯を踏まえ、具体的な事例に即しながら、その特徴と問題点を捉える。
 ・三権の働きについて、実際の動きを例としながら、その仕組みを捉える。また、時事的な話題を盛り込む。

3学期

・現代政治の特質と課題
 ・現代の国際政治
 ・日本社会の諸課題
 ・国際社会の諸課題

・マスコミのあり方やメディアリテラシーの必要性、選挙制度や政党の現状をふまえ、主権者として望ましいあり方を考える。
 ・国際政治の特徴と戦後国際政治の経緯、国際連合の機能を知るとともに、日本が国際政治に果たす役割について考える。

・基本問題の演習
 ・入試問題に挑戦

・学習したことを、論理的かつ簡潔にまとめ発表することができる。
 ・社会の出来事の因果関係を、用語を使って説明することができる。
 ・資料や統計が示す内容を読み取り、その原因と結果を見つけ出すことができる。
 ・学習内容を用いて、身近な問題について議論することができる。
 ○上記をふまえ、定期考査、提出物、授業態度などを総合的に評価する。